

第 6 回関東 MIST 研究会開催報告

平成 28 年 1 月 16 日（土）に JP タワーホールカンファレンス（東京都丸の内）にて第 6 回関東 MIST 研究会を開催いたしました。今回は参加事前登録制を行わせて頂いたこともあり関東地区内外を合わせ 143 名（写真 1）のご参加をいただき、盛会のもとに無事終了しましたのでご報告いたします。



特別講演 1 では東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科細胞生理学分野教授の竹田秀先生(写真 2)より、骨と全身のネットワークによる全身代謝調節機構のご講演を賜りました。骨の代謝に関する最新の知見を得ることができ大変有意義でした。特別講演 2 では富山大学整形外科臨床教授の川口善治先生（写真 3）より、先生ご自身の多数のご経験に裏打ちされた骨粗鬆症性椎体骨折の治療のポイントを、経過不良症例を挙げて解説頂きました。こちらもたいへん有意義なご講演を賜りました。

今回、新たに企画させて頂いたエキスパートレクチャーでは、日本 MIST 研究会幹事 星野雅洋先生、日本 MIST 研究会代表世話人 石井賢先生に OLIF vs XLIF のディベートを行って頂きました（写真 4）。経験豊富なお二人の先生方の講演から OLIF および XLIF の適応、その利点、欠点を整理することができました。どちらの術式を選択するかは、我々、個人にゆだねられたと思います。ご講演中、会場は満席で立ち見をしている先生もいる程の盛況ぶりであり、改めてお二人の先生方の偉大さを実感致しました。誠にありがとうございました。



また本研究会の主題である「LIFを用いたMISt」では、12演題の期待どおりの活発な御発表、質疑が行われました。LIFは脊柱変形手術に応用されることも多く、LIFの台頭により脊柱変形手術を主とされる先生の御発表もあり、LIFはMIStと脊柱変形の架け橋になり得ると実感いたしました。またLIFの合併症や予防に関する御発表も多く、LIFをlow risk、high returnにしようとする先生方の熱意を感じ、LIFの合併症は必ずや克服されるであろうと思いました。一般演題を含め、御発表頂いた皆さま、ありがとうございました。

恒例のBest paper awardは厳正なる審査のもとに、洛和会丸太町病院整形外科の原田智久先生による「成人脊柱変形に対するOLIF, XLIFとPPSを用いた矯正術—エクステンダースリーブを用いた矯正法を中心に—」のご発表が表彰されました。石井賢先生が提唱されるスローガン「All Japan!」に匹敵する原田先生の「All PPS!」がMIStへの熱いこだわりを感じさせて頂きました。また、Best discussor awardは会を通じて最も適切かつ冷静な質疑をしていただいた慶應義塾大学医学部整形外科学教室の日方智宏先生が受賞されましたことを併せてご報告させて頂きます。

次回の第7回関東 MISt 研究会は平成 28 年 9 月 7 日（土）に今回と同じ JP タワーホールカンファレンスにおきまして国保松戸市立病院脊椎脊髄センター宮下智大会長のもとで開催される運びとなっております。会員の皆様におかれましては引き続き振ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

第6回関東 MISt 研究会 会長
日本鋼管病院脊椎外科センター
大森一生